

検査名	心臓カテーテル検査		入院病棟	担当医師	担当看護師

月日		
経過	検査前	
検査		・ ストレッチャーか車椅子に乗り検査室に行きます ・ カテーテル検査室で処置台に乗って服を全部脱ぎます ・ 検査中、男性は尿器を当てます。女性は尿器での排尿が難しいのでパットを当てます。(検査前、場合によっては尿道カテーテルを挿入することがあります)
食事	・ 入院中は治療食を摂っていただきます	・ 検査の時間によって昼食の時間が変わります
処置 観察	・ 身長・体重測定 ・ 体温・脈拍・血圧を測定 ・ 名札を手首に着けます ・ 手または足の脈の触れる所に印を付けます ・ 足の場合は足の付け根の毛を剃ります	・ 検査室に行く前に血圧、脈拍、体温を測定します
薬剤 内服	・ いつも飲んでる薬のある方は、確認しますので看護師に渡して下さい。(医師の指示で中止する薬がある場合は、薬剤師がお知らせします)	・ 検査の約1時間前に点滴を始めます ・ 検査に行く前に安定剤を内服します ・ 手からの場合は穿刺部に痛み止めの貼りを貼ります
活動 清潔	・ 制限はありません ・ 入浴またはシャワーは可能です	・ 時計や指輪、入れ歯、眼鏡などを外して下さい。 ・ 寝巻きに着替えて下さい。
説明	・ 医師と看護師から入院生活と検査に関する説明があります。 ・ 同意書を提出してください。(同意書がないと検査が受けられません)	・ ご家族の方は、検査が終了するまで病室、又は心臓カテーテル検査の待合室でお待ちください ・ 医師より検査結果を説明します
必要物品	・ 寝巻き(和式)1枚(手からの場合はパジャマでもOK。袖が広くボタンのあるもの)、バスタオル、スプーン、ストロー、お茶・水	

※患者様の状態により予定が異なることがあります。ご質問があれば医師、看護師にお尋ねください。

検査名	心臓カテーテル検査		入院病棟	担当医師	担当看護師

月日		
経過	検査後	退院日
検査	車椅子かストレッチャーで病棟へ戻ります 	
食事	- 気分が悪くなければ、造影剤の排泄を促すため積極的に水・茶を飲んで下さい - 食事は帰室後1時間から食べて頂けます。 - 足の場合は寝たままの状態での食事となります 	- 手の場合は、朝食から食べられます。 - 足の場合は、医師の消毒後から食べられます。 
処置 観察	- 血圧、脈拍、体温を1時間ごとに3時間後まで測定します - 検査部位からの出血がないか確認します - 心電図モニターを胸に付けます 	朝、血圧、脈拍、体温を測定します 朝、9時頃に検査部位の観察・消毒をします →退院翌日に入浴後、絆創膏をはがして下さい - 消毒後、心電図モニターを外します 
	- 点滴は検査後も行います - 点滴は3時間で抜針します - 変更時はその都度お伝えします 	《退院後の生活について》 - 次回受診の説明がありますので、帰る前にナースステーションにお声掛け下さい - 診察券と退院時処方をお渡しします - 消毒の後には安静の制限はありません - 手首・肘部穿刺の場合 →2～3日程度は重いものを持たないでください - 大腿部穿刺の場合 →2～3日程度は足を深く曲げないでください - 入浴は翌日からできます - 主治医の指示がある場合は、栄養士より栄養指導があります(平日のみ) 
活動 清潔	- 手首・親指のつけ根・肘部穿刺の場合 → 帰室後から室内トイレまでは歩行可となります。部屋からは出ないで下さい。 - 大腿部穿刺の場合 → 帰室後3時間はベッド上絶対安静、以後は寝返り可です。 6時間後はベッドアップ60度まで可です。 穿刺側の足は曲げないで下さい。 - 詳しい安静度はその都度お伝えしますので、守ってください 	
	- ご家族の方に食事のお手伝いをお願いします。 - 痛みは我慢せずに知らせてください。痛み止めを使用します。 	《動脈硬化予防のためにも・・・》 - 栄養バランス(塩分・脂肪・糖分)のとれた食事を心がけてください - 負担のかからない程度の運動をしましょう - 禁煙を心がけてください